

令和5年（2023年）度行政評価シート【個表】

令和5年8月14日

評価対象事業		評価者	子ども支援課担当課長 松本 広	
子ども-01	児童福祉運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	子ども支援課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	保育課・子ども相談課
総合計画上の位置付け	分野	子育て	施策の方針	子育て家庭への支援

1 事業の目的

対象	児童等
意図	児童福祉事業の円滑な執行を図るため。
効果	児童福祉事業が適切に実施される。

2 令和4年(2022年)度を実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> 子ども・子育て会議を2回実施した。 市内の18歳以下の子どもに対し図書カードを配付した。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和4年度		令和5年度	達成度
				指標(実績値/目標値) 事業費(決算/当初)(千円)	指標(目標値) 予算額(千円)	指標(目標値) 予算額(千円)	
01	児童福祉審議会運営事務	審議事項なしのため、児童福祉審議会は実施しなかった。	—	- / 0	- / 110	- / 110	-
02	子ども・子育て会議運営事務	子ども・子育て会議を実施した。	子ども・子育て会議の開催回数(回)	2回 / 304	2回 / 357	2回	100.00%
03	図書カード配付事業	18歳以下の子どもへの図書カード配付	—	- / 135,579	- / 0	- / 0	-
04	一般事務経費	消耗品等	—	- / 475	- / 26	-	-
05				/	/		
06				/	/		
07				/	/		
08				/	/		
09				/	/		
10				/	/		
		財源内訳	国県支出金	135,141 /	0		
			地方債	/			
			その他特定財源	/			
			一般財源	1,217 /	493	110	
			事業費の合計(千円)		136,358 /	493	110
			人件費(千円)		27,126	27,796	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	2.0	3.4	3.4	3.4		
会計年度任用職員	4.0	1.0	1.0	1.0		

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	児童福祉審議会運営事務	本市では案件により児童福祉審議会での審議が有効であると考えられるが、年度によっては案件のない場合もあり、指標設定にそぐわないため。	審議事項なしのため、児童福祉審議会は実施しなかった。	—
02	子ども・子育て会議運営事務	鎌倉市第2期きらきらプランの適切な進行管理等、子ども・子育て支援に関する施策の総合的な推進に関し必要な調査、審議を行うため、目標指標のとおり、子ども・子育て会議を2回開催した。	子ども・子育て支援に関する施策の総合的な推進に関し必要な調査、審議を行うことで、子育て家庭への支援に寄与した。	子ども委員(3名委嘱)から意見等を聴取したが、政策への反映方法等に課題が残った。
03	図書カード配付事業	市内の18歳以下の子どもに対し、図書カードを配付した。	物価上昇の中でも本に触れる機会を確保することで、子どもへの支援に寄与した。	—
04	一般事務経費	事務に係る消耗品等費用であり、指標設定には馴染まないため。		—
05	0			
06	0			
07	0			
08	0			
09	0			
10	0			

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか		1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか		1 実施済み
	関連・類似する事業の統合はできないか		3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか		1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか		3 民間によるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか		1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か		△.負担未導入 △-3 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
	協働	市民等と協働して事業を展開しているか	
		△.協働未実施	協働実施済の場合のパートナー

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 改善・変更	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
子ども・子育て会議を開催し、第2期鎌倉市子ども・子育てきらきらプランの推進を図るとともに第3期の同プランの策定に取り組む。					
また、必要に応じて児童福祉審議会を開催し、様々な意見を聴取し適切な事業実施に努める。					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	鎌倉市子ども・子育て会議の開催実績						単位	回
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
子ども・子育て支援に関する施策の総合的な推進に関し必要な調査、審議を行うため。	目標値	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	
	実績値	2.0	2.0	2.0				
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%				

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	児童福祉審議会条例設置状況							
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	三浦市	逗子市
他市実績	○	×	×	×	×	○	×	×

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	児童福祉審議会の設置は児童福祉法では任意となっているが、本市では案件により児童福祉審議会での審議が有効であると考えている。
----------------------	---